



一泉

発行所 一泉同窓会

〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内

TEL (076) 242-0211 FAX (076) 216-5656
E-mail : issen_knz@hotmail.com

2025(令和7)年3月31日 発行 第52号



写真：加茂谷慎治（泉丘34期）

新たな時代迎え、世界を導く存在に 輝く一泉人となることに期待

一泉同窓会会員の皆さまには、日頃から同窓会活動にお力添えを賜り、感謝申し上げます。

おかげさまで母校は昨年度（令和5年度）、学校創立130周年を迎え、次なる節目に向けて新たなスタートを切りました。

泉丘高校は国際的に活躍できる人材育成を重点的に行うグローバルハイスクールとして語学力だけでなく、社会の課題に対する関心や教養、コミュニケーション能力、問題解決能力などを身に付けたリーダー育成の役割が求められており、同窓会としてもその支援に一層の協力を図っていく所存です。

国際社会は今、VUCA（ブーカ）の時代を迎えています。VUCAの時代とはソ連邦が崩壊し東西の冷戦が終結したことによりそれまでのイデオロギー対立が無くなった反面、何でもが対立軸になり得る不確実性の混沌が到来した時代を表わした言葉です。翻って30数年後の現在において世界各地で無ならない戦争・紛争に加え、超大国アメリカの自国第一主義の政策等で毎日猫の目の様に世界情勢が変化しています。まさにVUCAの時代の再来です。この不確実な時代を生きるにはどうすべきなのか？大切なことは流されないこと。すなわち自らのアイデンティティーを見失わず、物事を本質でとらえることが必要となっています。

私たちは日本に住み、暮らし、平和を希求する日本人です。さらに私たちは石川県に住み、暮らし幾多の災害にも屈せず立ち上がる強い石川県人です。一泉の傘の下に学び教養を修め、心身一如を追い求める優秀な一泉人です。しかし私たちは同時に、世界に影響を及ぼすことができる稀有な輝ける存在であることを再認識してほしいと願っています。このVUCAの時代を迷わずに進み、世界を導く存在になっていただくことを期待しています。

一泉同窓会会長 中村太郎

一泉同窓会基金寄付活動報告

* 寄付の累計 (2024年3月末実績)

| | |
|----------------------------|-------------------------|
| 金額 | 5,902,000円 (2019年10月より) |
| 件数 | 93件 |
| (うち、2023年度分は1,208,000円、4件) | |

| | | |
|------------------|-----|------------|
| * 2024年度助成計画 | 合計額 | 3,650,000円 |
| グローバル人材育成教育支援 | | 2,450,000円 |
| 教育振興 (SSH、SGHほか) | | 300,000円 |
| 書籍購入 | | 100,000円 |
| 通信制教育振興 | | 100,000円 |
| 一泉賞 | | 150,000円 |
| バス購入積立 | | 500,000円 |
| 国際交流活動助成 | | 50,000円 |

活動実績報告

SSH 米国サンフランシスコで学ぶ

SSH海外科学研修は理数科の2年生を対象に、9月29日～10月6日の間、実施されました。行先は昨年度と同様に米国サンフランシスコ。研修では、Study Centerで各自が決めたテーマについて英語でディスカッションをし、カリフォルニア科学アカデミーを訪問しました。楽天をはじめとする企業の方々からお話をうかがう機会があり、勤務される方々は、経歴や高校時代の過ごし方は、それぞれ異なりましたが、多くの若者が海外に挑戦してほしいという思いを受け止めました。

名門スタンフォード大学では、現役の学生の方々に案内してもらおうキャンパスツアーやQ&Aを行い、カ

リフォルニア大学バークレー校では、理数探究で学んでいることと米国研修で学んだことについて2分間のスピーチを行いました。メモを見ずにスピーチをした人もおり、数日間で大きく成長したことが強く感じられました。

SGH 米国 プリンストン大学で交流

SGコース2年生のアメリカ研修は、2024年9月から10月にかけて行われました。参加した生徒たちはプリンストン高校で同校の生徒たちを前に英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答に挑みました。その後は、生徒たちとの自由交流の時間があり、積極的に話しかけて互いの生活や将来の夢を話すなど懇親を深めました。

授業見学では、日本語や中国語、スペイン語やフランス語、そしてラテン語まで様々な言語の授業が開講されており、興味深く見入っていました。生物や物理の授業では実験を行っていましたが、日本の中学校で習った内容や既習のものが多く、日本の数理教育のレベルの高さを実感することもできました。

翌日はプリンストン大学を訪問、ジョン・F・ケネディをはじめ各界で活躍する人物を輩出する名門校のキャンパスの雰囲気を感じていました。同大で留学生のサポートを担当するレベッカさん、東京大学から交換留学でプリンストン大学に留学中の宇野さんから話をうかがい、積極的に質問を行いました。交流の最後に学生たちに英語で感想を述べる場面では、自ら手を上げる生徒も多く、アメリカ研修を経て生徒たちも自信に満ちあふれているよううかがえました。



ほくりくみらい基金
Hokuriku Mirai Foundation

代表理事 永井三岐子 (泉丘39期)

〒920-0931 金沢市兼六元町15-28
E-mail: info@hokuriku-mf.jp

菱機工業株式会社

代表取締役社長 北川雅一朗 (泉丘39期)

〒921-8526 金沢市御影町10-7
TEL076-241-1141

成瀬電気工事株式会社

代表取締役社長 成瀬亮太郎 (泉丘39期)

〒920-0061 金沢市問屋町2丁目17番地
TEL076-237-4181
E-mail: r-naruse@narusedenki.co.jp

対 談

母校に書と絵画を寄贈 林さん(泉丘17期)と新田さん(同18期)

金沢一中と泉丘高校の卒業生でつくる「一泉桜美会」。芸術・美術に取り組む同会会員の皆さんによって1973年に創設され、毎年作品展が開催されています。その中でも精力的に作品制作に取り組まれている同会代表幹事の林昭悦さん(泉丘17期)と現代美術展委嘱作家でもある新田千鶴子さん(同18期)のお二人がこのほど、泉丘高校にそれぞれ作品を寄贈されました。絵画と書の2点の作品は校舎一階に飾られ、生徒たちや学校を訪れた方の目を楽しませています。これまでの制作の経験や寄贈された思いをうかがいました。

－ 寄贈された作品について教えてください。

林 寄贈した作品は、甲骨文に見られる「藝(芸)」という字を大きな羊毛筆で書きました。甲骨文は亀甲や獣骨に刻まれた古代文字です。漢字のルーツを探ることが楽しく、この文字は植物を手で植える様子を表現しています。

新田 寄贈した作品は、「Nの部屋」と題するS60サイズの絵画です。今年(2024年)3月に描き上げて現代美術展に出品した作品です。

－ お二人は、高校時代の1年先輩後輩となりますね。

林 3年間書道部に在籍し、先輩によく面倒をみて頂き、後輩には助けられました。おかげさによると、部長を引き受けてから、自分の生き方が変わり始めました。それまで引込み思案な方でしたが、校内弁論大会にまで出場するなどいろんな経験ができました。良い思い出です。

新田 入学して林さんがいる書道部に入部したのですが、掛け持ちでJRCクラブに入り、ボランティア活動に打ち込んでいましたね。校舎の屋上でレクリエーション活動の研究をし、環境に恵まれない子どもたちを施設に訪ねて一緒に遊び相手になったりしました。

－ 高校卒業後はそれぞれの道に進まれました。

林 東京学芸大学で書道を専攻し、教員を目指しました。大学卒業後、石川県へ戻り、高校の教員に就きました。県立高校で書道を教えながら、拓本の収集に励



み、中国の書に関する知識も深めていきました。大学時代の同級生と東京都内で毎年作品展を開いています。回を重ねて来年で51回になります。この10年間は、一泉桜美会の代表として、毎年展覧会の企画・運営のお世話をさせて頂いています。

新田 金沢美大に進んで、卒業後は美容師の道に入ります。そこで絵はきっぱりとやめました。美容師として、世界大会に出場したこともあったのですが、ビジネスとして美容を地域にもっと広めていきたいと考えて店を育て人を育てることに打ち込むようになりました。50歳になった頃に、もう一度筆をとって絵を描き始め、おかげさまで現代美術展では委嘱作家として認めていただけるようになりました。

－ 作品を学校に寄贈いただきました。合わせて後輩たちに贈る言葉をいただけますでしょうか。

林 後輩の皆さんにも創作活動を継続することの大切さや意義を感じていただけましたら幸いです。人間形成に不可欠なことです。

新田 芸術活動と職業生活を両立することで豊かな人生を送ることができるということを感じ取っていただけるとうれしいですね。

聞き手：加茂谷慎治(泉丘34期)

林 昭悦さん(泉丘17期) 書道家。石川県立鶴来高校や金沢女子高などの教員を歴任し、拓本の収集家としても活動を続ける。一泉桜美会代表幹事として毎年恒例の「一泉桜美会美術展」開催に尽力する。

新田千鶴子さん(同18期) カミオ株式会社取締役会長。一創会会員。現代美術展異色作家。美容業界への貢献が評価され、世界美容家協会から「シュバリエ・ナイト」の褒章を受ける。2015年金沢市経済活動賞受賞。

長原法律事務所

弁護士 長原 悟 (泉丘39期)

〒920-0027 金沢市駅西新町3-1-10
NEWSビル102
TEL076-282-9296 FAX076-282-9296
E-mail: nagahara0105@helen.ocn.ne.jp

06
31479
528

税理士法人
クロスアカウンティング
CROSS ACCOUNTING

中村 孝治 (泉丘39期)

〒920-0931 金沢市兼六元町15-28
TEL076-222-5654
E-mail: markkoji@kisensa.jp



あかまる
整形外科・脊椎
クリニック

院長 赤丸 智之 (泉丘39期)
医学博士

〒920-0348 金沢市松村4-417
(示野イオンから500メートル海側)
TEL(076)255-2121
URL <http://www.akamaru-clinic.jp>

一 泉 賞

一泉賞に吉木さん 藤井さん

令和6年度の「一泉賞」は吉木嵩裕（よしきたかひろ）さん（3年）と藤井小春（ふじい こはる）さん（同）が受賞した。

吉木さんは、放送部の代表を務める。第71回NHK杯全国高校放送コンテストのラジオドキュメント部門にて優良賞を獲得した。ラジオドキュメント部門には、都道府県大会参加数32作品、全国大会参加数184作品が出品され、優良賞はその上位（5～10位）に与えられた。本校の作品「一步、また一步。」は令和6年度能登半島地震の被災地を丁寧に取材し、被災者の声を届けた作品として5位の評価を受けた。

藤井さんは、新聞部の代表を務める。令和6年度第

1回全国高校新聞コンテストで金賞（1位相当）を獲得した。新たに設置された全国高校新聞コンテスト（主催：全国高等学校新聞研究会、後援：報道実務家フォーラム、早稲田大学次世代メディア・ジャーナリズム研究所）で全国83校中全国1位の金賞に輝いた。



吉木嵩裕さん



藤井小春さん

OB会 だより

桜美会 一泉桜美会美術展

絵画や写真、書などの力作が並ぶ

第52回一泉桜美会美術展は10月1日から6日間、金沢市の「しいのき迎賓館」で行われた。旧制金沢一中と泉丘高校の卒業生・在校生による世代を超えた美術作品が会場内に展示され、来場者の目を楽しませた。

今回は、会員による絵画や写真、書など59点と、書道、美術、写真部の在校生の19点が出展された。能登地震発生前に撮影された珠洲市の見附島の写真作品が注目を集めた。

◇会長 中村太郎（泉丘35期） ◇副会長 林隆信（同22期）、温井伸（同26期）、大砂雅子（同26期）、竹澤敦子（同29期）、玉川昌範（同31期）、至極明子（同34期）、鶴見恵理（同35期）、澁谷英利（同36期）、浦淳（同36期）、北川雅一郎（同39期）、小倉一郎（同40期）、鶴山雄一（同51期）、○岡山隆昭（通信63期） ◇監事 広多清一（泉丘29期）、西井隆志（同39期） ◇相談役 普神貴行（一中56期）、小倉周一郎（泉丘7期）、蚊谷八郎（同14期）、清水義博（同22期） ◇事務局長 諸野普（同22期） 以上敬称略。

○は新任。任期は2024年10月15日～2026年10月15日。

同窓会総会

中村会長が再任 2024年度総会

2024年度一泉同窓会総会は10月15日に開催され、役員改選で中村太郎氏（泉丘35期）を会長に再任した。役員は次の皆さん。



ホクショー辻茂株式会社

代表取締役社長 村田 磨基（泉丘39期）

〒920-0059 金沢市示野町イ6番地
TEL076-267-3115 FAX076-267-2975
E-mail : m-murata@hokusho-tsumimo.co.jp

BIZTEL

shouin コンサクトセンター

GRAIN

BRISYS SOCRATES

取締役 CTO 宮崎 徹（泉丘39期）

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-38
表参道グランビル3階
TEL03-4590-4500
E-mail : miyazaki@brisys.co.jp

宮下印刷株式会社

代表取締役社長 宮下 光信（泉丘39期）

〒920-0047 金沢市大豆田本町甲251番地
TEL076-263-2468
E-mail : mitsunobu@dreamtech.co.jp

先輩12人が職業を紹介

「社会人と語る会」

令和6年度の「社会人と語る会」は泉丘高校で開かれ、幅広い分野で活躍する卒業生12人が母校の教壇に立ち、2年生に自身の仕事内容や経験などを語った。生徒たちが、さまざまな職業を理解し、自らのキャリア形成のヒントを得る機会として開催された。

国家公務員、弁護士、医師をはじめ、企業や団体で活躍する卒業生が講師を務めた。生徒たちは、先輩からそれぞれの活動内容、仕事を通しての苦労や喜びなど生の声を聞いた後、職業について理解を深めた。

講師を務めたのは次の皆さん。

- ◇国家公務員（経済産業省）
中谷一夫（泉丘46期）
- ◇国立大学法人研究者（東京大学大学院理学系研究科宇宙惑星科学機構教授、JAXA 研究者兼務）
橘省吾（同43期）
- ◇弁護士（さくら共同法律事務所）
松村昌人（同40期）
- ◇企業 国際関係（菱機工業代表取締役



中谷一夫さん



橘省吾さん



松村昌人さん



北川雅一朗さん



藤頭信さん



浅田倫正さん

役社長)
北川雅一朗（同39期）

- ◇企業 ITコンサルタント企業（デロイトトーマツコンサルティング）
藤頭信（同42期）
- ◇企業 事業・ビジネス企画部門（CCMKホールディングス）
浅田倫正（同43期）
- ◇企業 スタートアップ経営者（スピカコンサルティング取締役）
山本夢人（同58期）
- ◇医師（金沢大学医学部教授(放射線科)）
小林聡（同36期）
- ◇医療関係（住友ファーマ）
堀澤智子（同42期）
- ◇機械・電気・電子系（NTTデータビジネスシステムズ）
吉田直己（同42期）
- ◇建築設計事務所経営（浦建築研究所代表取締役）
浦淳（同36期）
- ◇IT関連企業（NECソリューションイノベータ兼金沢工業大学教授）
至極明子（同34期）



山本夢人さん



小林聡さん



堀澤智子さん



吉田直己さん



浦淳さん



至極明子さん

※敬称略、所属・肩書は2024年11月現在



ビストロ高柳
高柳 美奈（泉丘39期）

〒920-0998 金沢市里見町39
TEL076-262-5914
E-mail: yoyaku@takayanagui.com

<https://takayanagui.com/>



日栄商事株式会社

取締役 専務執行役員 中村 直人（泉丘39期）

〒920-0064 金沢市南新保町口35番地
TEL076-237-4325(代) FAX076-237-4327
URL <http://www.nichiei-g.co.jp/>



医療法人社団
溝口デンタルオフィス

理事長 院長 溝口 尚（泉丘39期）

〒920-0981 金沢市片町1-4-18
Talk タテマチ Bld. 2. 3. 4. 5階
TEL076-221-0162 FAX076-221-0152
URL <http://www.mizo-dental.com>

同窓会だより

一泉のパワーを、石川のパワーに 同窓会 令和6年度総会・懇親会 700人が復興にエール



創立131周年・令和6年度総会・懇親会は10月15日夜、金沢市のANAクラウンプラザホテル金沢で開催された。幹事を務めた泉丘41期のメンバーは1月1日に発生した能登半島地震の復興支援の一助とするため「一泉のパワーを、石川のパワーに」をテーマに掲げた。

約700人の同窓生が参加し、創立131周年を祝うとともに旧友や先輩後輩との懐かしい再会を喜び、昔話を花を咲かせた。

総会では、同窓会活動について諸野普一泉同窓会事務局長（泉丘22期）が報告を行った。懇親会は、ハーブ奏者の稗島律子さん（泉丘41期）の演奏で幕をあげ、



能登復興支援として、能登の酒造メーカーの日本酒提供や珠洲焼による箸置きが記念品として配られた。

泉谷満寿珠洲市長（泉丘35期）からのビデオメッセージが紹介され、参加者は被災地に心を寄せたほか、永田祐子さん（泉丘41期）のバイオリン演奏をBGMに珠洲焼記念品作成活動もビデオで紹介された。

応援歌と校歌斉唱の後、林隆信副会長（泉丘22期）と応援団OBの広瀬靖久さん（泉丘16期）による母校の発展と石川・能登の復興に向けたエールで閉会した。



アニメ監督の米林さん(泉丘44期)が講演 鶴見さん(同)のピアノ演奏も 関東一泉同窓会

秋晴れに恵まれた11月16日、第65回 関東一泉同窓会総会・懇親会は新宿・ハイアットリージェンシー東京で開催され、全国から348名の同窓生が参加した。テーマは「これまでとこれからの出会い」。幹事を担当した泉丘44期のメンバーは懐かしい仲間たちとの再会に加え、新たなつながりが生まれる場となるよう趣味や仕事をテーマにした席替え企画など、交流を深めるプログラムを用意した。

ピアニストの鶴見彩氏（泉丘44期）が、能登半島地震で被災された方々への思いを込めたピアノ演奏を行

金沢滞在を、真の金沢体験へ。
ANA
CROWNE PLAZA®
AN IHG HOTEL
KANAZAWA

ANAクラウンプラザホテル金沢
〒920-8518 石川県金沢市昭和町 16-3



一期一縁のおもてなし。

〒920-0853
石川県金沢市本町2-15-1 (JR金沢駅兼六園口前)
Tel: 076-234-1111 (代表)



ホテル日航金沢
hotelnikko kanazawa

い、アニメーション監督の米林宏昌氏（同44期）による講演が行われた。



懇親会では本年度一泉同窓会幹事を務める泉丘41期生による復興支援を目的としたチャリティ品の販売が行われた。関東一泉同窓会は石川県に30万円の義援金を贈呈した。
(代表幹事 井田亮太)

永田さんがバイオリン演奏で花添える 富山一泉同窓会開催

富山一泉同窓会の第4回総会・懇親会は11月6日、富山市の和食ティファニーで開催され、52名が交流を

深めた。

三原克久幹事（泉丘37期）が司会を務め、総会では堀祐一会長（同23期）、来賓の一泉同窓会の中村太郎会長（同35期）、金沢泉丘高校の岡橋勇侍校長（同36期）があいさつした。

懇親会では永田裕子氏（同41期）がバイオリン演奏で開会に花を添え、新たに副会長に選任された長高英氏（同34期）が乾杯のあいさつ、北川清秀氏（同21期）が年長者代表、中村圭佑氏（同67期）が若手代表としてあいさつした。閉会にあたり全員で校歌を斉唱し、岡本仁顧問（同17期）の万歳三唱で締めくくった。



(富山一泉同窓会幹事長 横谷正樹)

白山一泉同窓会総会・懇親会

令和6年度白山一泉同窓会総会・懇親会が11月23日、グランドホテル白山において46名の参加により開催された。

長基健司会長（泉丘26期）の開会あいさつ後、辻貴弘氏（同30期）が「全国に広がる白山信仰」と題して全国各地に伝わる白山、白山神社等の逸話について講演を行った。冒頭、長く会長を務め、令和6年5月に亡くなられた青木桂生氏に哀悼の意を表し黙祷が捧げられた。

懇親会冒頭、林隆信一泉同窓会副会長（同22期）から祝辞があり、続いて岡橋勇侍 泉丘高校校長（同36期）から現在の母校の状況や生徒達の様子等に関する報告があった。懇親会では、初めての参加者も交えて高校時代の思い出や、各自の近況に話が弾んだ。

(白山一泉同窓会事務局 小林亘)

82人の同窓が集う 第41 関西一泉同窓会

第41回関西一泉同窓会は6月29日、大阪市のグランフロント大阪内で開催され、会員ら82人が親睦を深めた。

参加者は、最年長の一中57期の米田彬さんを筆頭に昨年度の卒業生である泉丘75期生まで幅広い年代の同窓生が顔を合わせた。関西一泉同窓会副会長若松正志氏（泉丘34期）のあいさつに続き、中村太郎同窓会長（同35期）、岡橋勇侍泉丘校長（同36期）らが祝辞を述べた。

今回は恩師来賓として加藤茂芳先生（数学担当、バトミントン部顧問）が招待された。加藤先生は泉丘31期から49期生が母校在学中に奉職されており、先生在任期間中の卒業生が多く出席した。引き続き松尾ゆきえさん（泉丘通信12期）が経営するクラブ「珠洲」で二次会が催された。

(同窓会事務局 諸野晋)

同窓会幹事代行承ります。

TEL 0120-953-070

受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00

同窓会のトータルプロデュース企業

株式会社 サラト



サラト 検索



株式会社 橋本確文堂

取締役会長 橋本勝郎

(泉丘12期)

金沢本社 〒921-8025 石川県金沢市増泉4-10-10

TEL: (076)242-6121

FAX: (076)243-7945

東京支店 〒102-0081 東京都千代田区四番町1-8

四番町セントラルシティハウス7階

TEL: (03)6700-8899

FAX: (03)4361-9260

www.mba.co.jp

一泉文庫管理表

2024年度寄贈分

| 寄贈・購入日 | 寄贈・購入別 | 書名 | 著者 | 購入・寄贈者 |
|-----------|--------|------------------------|-------|-----------|
| 2024/6/12 | 寄贈 | 旧街道紀行 土地々に根付いた歴史と文化 | 八尋 章文 | 同左(泉丘14期) |
| 2024/6/13 | 寄贈 | 黎明期の異国見聞録 | 徳田 寿秋 | 同左(泉丘12期) |
| 2024/12/9 | 寄贈 | 政治小説を読む 立ち上がる物語、抑制する物語 | 西田谷 洋 | 同左(泉丘37期) |
| 2025/2/10 | 寄贈 | 地域の伝承物語を学ぶ 一向一揆・任誓・昔話 | 西田谷 洋 | 同左(泉丘37期) |

東大3年連続で20人超、京大初の30人超 令和7年度入試 前期日程結果 東大23人、京大34人が合格

東大、京大など国立大学の令和7年度入試前期合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大23(現役13)人、京大34(同21)人が合格した。東大合格者が20人を超えたのは3年連続、通算で5度目であり、令和5年度に並ぶ歴代最多であった。また、京大合格者が初めて30人を超えたこと、京大現役合格者が20人を超えたことは、快挙である。

その他の難関国立大の前期の結果は、阪大56(現役42)人、名大13(同8)人、東北大16(同9)人、九大5(同4)人、北大16(同13)人、一橋大1(同0)人、東京科学大[旧東工大+旧東京医科歯科大]3(同2)人、神戸大18(同17)人であった。阪大合格者数も史上最多である。

なお、地元の金大には53(現役45)人、うち医学類には14(同9)人が合格した。国立大学医学部医学科全体の合格者は26(同11)人であり、このうち阪大1(同1)人、名大1(同0)人、北大3(同1)人が合格した。

雨の中、演奏や歌声に合わせて練り歩く 一泉行列に180人が参加

令和6年度「一泉行列」は8月29日に行われ、生徒や教職員、同窓生ら約180人があいにくの雨の中、歴史に思いをはせながら金沢市内を行進した。

今回は香林坊1丁目の県教育会館を起点に、片町や



有松を通り、泉丘高校校舎まで約4.2キロを練り歩いた。参加者は思い思いの服装で、吹奏楽部の演奏や合唱部の歌声に合わせて一中魂をアピールした。一泉行列は泉丘高の前身、旧制金沢一中の精神を継承しようと約30年間続いている。

「箸置きと生け花」のコラボレーション 串岡さんと中村さん

日本の食卓を彩る小さな一品「箸置き」。30年以上にわたり、箸置きを収集してきた串岡慶子さん(泉丘17期 元滋賀短大教授)のコレクション展が2024年4月、金沢市の中村記念美術館の旧中村邸で開催され、多くの来場者でにぎわった。会場には、四季の花や動物をかたどった明治期以降の箸置き約600個が並べられ、県生け花文化協会理事の中村雨光さん(泉丘16期)も生花で会場を華やかに盛り立てた。

箸置きは、幅広いデザインやさまざまな素材の品が並べられた。中村さんは箸置きに合わせて柔らかな雰囲気演出を工夫した紅切りツツジの花筏の作品をはじめ、お茶花なども取り入れた展示で会場の雰囲気を和ませた。(泉丘12期 小林弘子)

編集後記

能登半島地震から1年余。現地を訪れると、発生時から変わって歩みが進んだ部分、思うように復旧復興の進んでいない部分が見られます。同窓の皆さんが、行政、土木・建築、流通、医療・福祉、工芸、ボランティアなどさまざまな分野で復興への取り組みに知恵を絞り、汗を流しています。被災者支援、インフラ整備、なりわい再建など多くの課題を抱えながら、新しい能登半島、未来の石川県の形が見えてくることを期待し、私たちもまた、あの日を忘れることなく、一人一人ができることに取り組んでいきたいと日々考えています。

(加)

「一泉」編集室

小林弘子(同12期) 藤原 励(同23期)

加茂谷慎治(同34期) 東野理実子(同36期)

題字・普神貴行(一中56期・泉丘2期)